

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

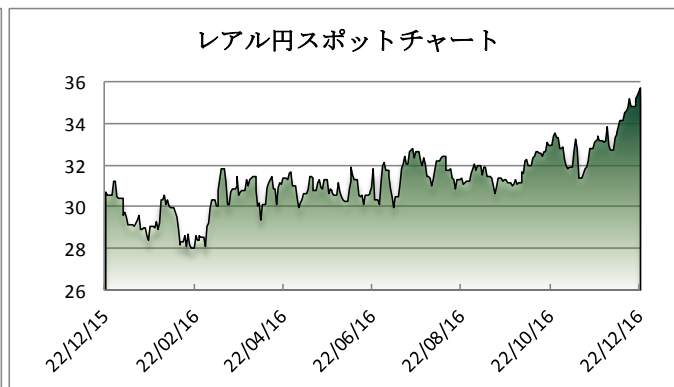
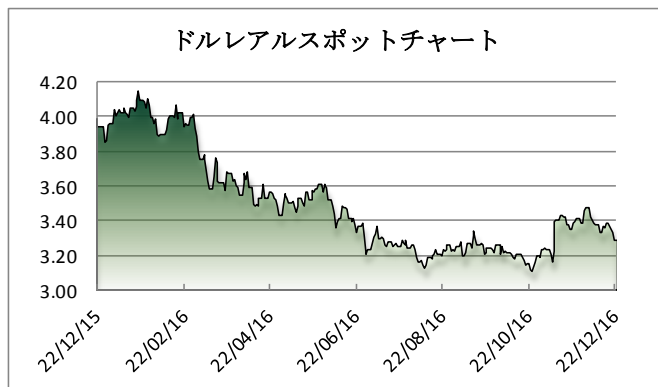
昨日のドルレアルスポット相場は、Temer大統領が景気促進策の詳細について発言したことでレアル買いが優勢となり、節目の3.30を下抜け、一時3.28台前半までレアル高が進行した。同大統領は、①勤続年数補償基金と呼ばれるFGTSの引き出しを正式に容認(Caixa Economicaの試算では、引き出し額は300億レアルになる見通しで、成長率を0.5%押し上げる効果が期待される。なお、詳細なスケジュールについては来年2月1日に公表される予定)、②クレジットカードのリボ払いを30日間に制限し、それ以降は最大で2年間の分割払いに移行させる(ブラジル中銀によると、10月のクレジットカード年間平均金利は475.8%に達しており、個人債務の拡大に拍車を掛けている)、③労働法の変更(1日8時間、週44時間の法定労働時間の拡大や長期休暇手当の分割支払いなど)、について言及した。なお、マーケットの一部で噂されている自身の大統領辞任観測については改めて否定すると共に、内閣改造についても検討していないと発言している。

ブラジル中銀が昨日公表した第4四半期インフレ報告では、2017年と2018年のインフレ率見通しが、いずれも目標値4.5%を下回る4.4%と3.6%となった(前回9月分では、4.4%と3.8%)。「金融緩和の程度とペースは引き続き今後のインフレ見通し次第である」との見解も示され、具体的な利下げ水準については言及を避けたが、マーケットは中銀が次回会合で50bpsの利下げを実施するとの見方を強めている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	12月21日	12月22日	前日比	11月22日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3.3309	3.2916	-0.0393	3.3563	-0.0647
	対円	JPY	35.29	35.71	+0.42	33.11	+2.60
	対ユーロ	BRL	3.4733	3.4356	-0.0377	3.5662	-0.1306
円	対ドル	JPY	117.55	117.54	-0.01	111.14	+6.40
	対ユーロ	JPY	122.56	122.67	+0.11	118.10	+4.57
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	57,647	57,255	-392	61,954	-4,699
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	282.7	283.1	+0.4	302.8	-19.7
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	11.61	11.48	-0.13	11.87	-0.39
DI Future Apr17 (金利先物)		%	12.97	12.98	+0.00	13.28	-0.31
3 Months US Dollar Libor		%	0.998	0.998	+0.000	0.925	+0.073
CRB Index (国際商品指数)		Index	190.8	190.3	-0.5	187.6	+2.7

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。